高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　平成26年７月10日（木）

出会いに感謝

宮城県高等学校PTA連合会会長　野　田　もと子
(仙台向山高校ＰＴＡ会長)

平成26年度宮城県高等学校ＰＴＡ連合会会長に就任いたしました野田もと子です。

本会の活動方針は地域・学校・家庭が連携を密にし、情報を共有して子供たちの健全育成を図ると同時に会員相互の親睦を図ることを目的としております。

転勤族であった我が家は平成18年の４月に九州福岡から仙台へ引っ越して来ました。当時、長男は福岡での高校受験後に入学辞退して、仙台向山高校で唯一人の編入試験を受け入学しました。当時は大変でしたが、お陰様で、とても充実した楽しい３年間を過ごす事ができ、その姿を見ていた６歳下の次男が現在同校にお世話になっております。

４人の子育ての間に関東から関西、北陸、九州と移動し、その度に子供にとっては大変ですが転校しながら各地域の学校にお世話になりました。我が家では子供のクラブ活動、ご近所様とのお付き合い、各種のイベント参加は悩みながらも楽しみでありました。初めての土地では子供の学校が地域交流の入り口であり、参加させていただく行事を通じてローカルルールを学び、沢山の方々に助けていただきながら楽しく子育てが出来ました。地域社会と繋がる大切さについて身をもって体験させていただきました。今、振り返りますと各地に知人友人がたくさん出来、自分にとっての宝物が増えました。この経験から少しでも現在お世話になっている地域のお役に立てればと小学中学校区のボランティアをさせて頂いています。

高校生には大学受験という目標もありますが、今、子供たちに何ができるかと個性に合ったその可能性を家庭でも見つけてあげたいと思います。「やってみせ、言って聞かせて、させてみて、ほめてやらねば人は動かじ。」「話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。」「やっている姿を感謝で見守って、信頼せねば人は実らず。」山本五十六の言葉です。有名で聞いたことは何度もあるのに時間がたつと忘れてしまいます。

高校生の間ではコミュニケーション能力が必要と感じつつも孤立したゲームやスマートフォンの世界に浸り、結果として家庭内の会話不足や地域社会から隔絶される傾向もあります。学校の先生方のご努力に依るところが大きいのですが、地域との密着した連携が出来れば幅広い年齢層の方々の言葉で子供の人格形成に大きな成果が得られると考えます。

本会は今年、創立60周年の記念すべき年を迎えました。昭和29年に本会の前身「宮城県高等学校父母教師会連合会」が数年の準備期間を経て設立され，全国組織に加盟し活動を開始しました。それから60年。設立当時わずか４校だった加盟単位ＰＴＡは現在84校を数え、６支部約５万名の会員を擁し、宮城県の高校教育の応援団として多彩な活動を展開しています。

10月23日(木)には旧仙台市青年文化センターを会場に「みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル2014」を開催いたします。当日は創立60周年を記念する式典も行い、この長い歴史をお祝いしたいと思い、現在準備を進めております。会員の皆様多数のご参加で式典が盛り上がり、60年の歴史に華を添えて頂く事が出来れば幸いです。

なお、記念誌「輝き－10年の軌跡－」をフェスティバル当日お手元に届けられるよう、編集作業も皆様のご協力で順調に進んでいます。

最後になりますが、これからも出会いに感謝しながら私始め役員一同、一年間努力してまいりますので皆様のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

祝　宮城県高Ｐ連　創立60周年

会長に野田もと子氏（仙台向山）を選出

パレスへいあんを会場に５月30日、平成26年度総会が開催された。県教育長高橋　仁氏、県高校長協会長渡邊幸雄氏から祝辞を頂き、その後審議に入った。

26年度の予算はどの項目も前年度を下回るという超緊縮予算が提案された。予算・決算の記載の仕方について要望事項があったが、25年度事業報告・決算、26年度活動方針、事業計画、予算、新役員の提案は満場一致で可決された。

その後第6号議案で、平成34年東北地区で開催される全国大会の本県開催について提案があった。

全国大会は全国高P連で開催地区を決め、地区で開催県を決めることになっている。東北地区ではこれまではおおむね時計回りで全国大会を実施してきた。27年度には岩手県を会場に全国大会が開催されるので、34年は順番としては本県開催となる。そこで「東北地区高P連から開催要請があった場合には本県で開催」することが事務局から提案され、満場一致で可決承認された。

８年後のことではあるが、全国から１万人を超える参加者の集まる大会であり、全国に宮城県のPTA活動の姿を発信する絶好の機会である。今後、計画的に資金や体制をととのえる必要があると思われる。

また、協議題「その他」では、会場から超緊縮の26年度予算について「本会の将来像を見据えて財政について早急に検討すべきである」という声が寄せられた。

協議後、県高P連の表彰式が行われ、表彰者78名を代表し、鹿島台商業高校岩間のり子会長が、大友美恵県連会長より表彰状を受け取った。また、大友会長には、野田新会長から感謝状が贈呈された。

岩間のり子さん（鹿島台商会長）が代表で表彰状を受領

県教育長 高橋　仁氏より祝辞

★★おめでとうございます★★

東北大会表彰（感謝状）　大友　美恵　県連会長
〃　鈴木　宏通　健全育成委員長
〃　阿部　善文　進路対策委員長
〃　千坂　博行　調査広報委員長

東北大会表彰（表彰状）　早坂　陽　仙塩支部長
〃　相澤　由香　仙南支部長
〃　佐藤　正徳　大崎支部長
〃　堀田菜菜江　仙北支部長
〃　小山　正寿　本吉支部長
〃　尾地　浩　東北大会発表

広報紙コンクール
優秀賞　古川黎明高校・気仙沼高校
優良賞　小牛田農林高校

全国大会表彰（団体）　仙台南　支部長校
仙台三桜　事務局校
全国大会表彰（個人）　大友　美恵
県会長・東北健全育成委員長

優良ＰＴＡ文部科学省大臣表彰
加美農業高校

大館大会、福井大会が開催

＊＊佐藤利行(白石工業)会長が大館で成果発表＊＊

７月４、５日の両日にわたって、第63回東北地区大会が秋田県大館市を会場に開催された。「生きることを子どもとともに見つめて」というテーマで開催された同大会には、本県から276名が参加申し込みをしている。同大会では佐藤白石工業会長が「社会に貢献できる人材育成～生徒の育成を支えるPTA活動～」と題して事例発表を行い好評を博した。

また、第64回全高P連大会が、福井県を会場に８月22，23日に開催される。本県からは103名が参加を予定している。同大会開会式では加美農業高校PTAが文部科学省から優良PTAとして太臣表彰されることになっている。　おめでとうございます

創立60周年記念式典を挙行　～フェスティバルと同日に開催～

昭和29年、本会の前身「宮城県高等学校父母教師連合会」が設立され、全国組織に加盟してから今年で60年を迎える。それまで準備期間は何年間かはあったが、仙台一、二高、東北高、仙台女高の４会長が発起人として父母教師連合会が設立された昭和29年を本会創立の年としている。本来なら大々的に60周年を祝いたいところだが、今回は10月23日に実施されるフェスティバルと同日開催を予定している。現役会員を中心に式典を挙行することとして準備を進めている。記念事業はシンプルではあるが、先人の地道な努力に敬意を表す日にしたいものだ。

■記念講演■　講師には　平川 新 先生（宮城学院女子大学学長）

記念講演を宮城学院女子大学の学長、平川新先生にお願いしたところ、ご快諾いただいた。

先生は1950年生まれで福岡県の出身。中学卒業後、上京しブリジストンタイヤの工場で働き定時制高校で学ぶ。21歳で定時制高校卒業後、法政大学の通信制に学び、古文書の魅力に惹かれ、東北大学大学院に進む。その後、東北大学教授、震災後は東北大学災害科学国際研究所所長として被災した歴史資料の復元に尽力された。

専門は歴史学・歴史資料保存研究。演題は未定。

右から　野田会長　渡辺尚人向山高校長(顧問)　以下副会長、委員長の皆さん

平成26年度　新しい役員の皆さん

役職名	氏名	所属校
会長	野田もと子	仙台向山
副会長	久保木潤子	仙台市立仙台
〃	佐藤　利行	白石工業
〃	日野　由香	田尻さくら
〃	菅野又伸治	石巻北
〃	鈴木　英雄	迫桜
〃	小野寺孝明	気仙沼向洋
監事	相澤　由香	名取北
〃	佐々木　昭	小牛田農林
〃	三浦　源一	登米
理事（仙塩）	☆早坂　陽	仙台南
〃	☆草刈美香子	仙台東
〃	☆佐藤香代子	仙台工業
〃	千葉　敏彦	仙台第二
〃	渡部　芳彦	仙台二華
〃	熊谷　春恵	貞山
〃	村井真由美	富谷
理事（仙南）	☆川村　仁	大河原商
〃	佐藤　正秀	角田
〃	今村　幸栄	蔵王
理事（大崎）	☆村上　晃淳	涌谷
〃	中鉢ひろみ	加美農業
〃	升　良之	古川黎明
理事（石巻）	☆鈴木　秀彦	石巻好文館
〃	加賀　剛	石巻工業
〃	奥山　浩幸	石巻商業

役職名	氏名	所属校
理事（仙北）	☆伊藤　義浩	一迫商業
〃	三塚　満	築館
〃	阿部　恭一	米谷工業
理事（本吉）	☆村上　義和	気仙沼
〃	小山　正寿	本吉響
県連顧問	大友　美恵	前会長
〃	渡辺　尚人	向山校長

☆印は常任理事

委員会	健全育成	進路対策	調査広報
仙塩支部	仙台二華 渡部　芳彦	○仙台工業 佐藤香代子	貞山 熊谷　春恵
仙南支部	蔵王 今村　幸栄	大河原商業 川村　仁	◎角田 佐藤　正秀
大崎支部	古川黎明 佐藤多賀典	加美農業 中鉢ひろみ	○松山 齋藤　勝夫
石巻支部	◎東松島 菅原　良江	石巻商業 奥山　浩幸	水産 阿部　明美
仙北支部	○一迫商業 伊藤　義浩	米谷工業 阿部　恭一	築館 三塚　満
本吉支部	気仙沼 村上　義和	◎志津川 小畑　康弘	気仙沼西 武田さえ子

◎委員長　○副委員長

支部事務局長

仙塩	大村俊浩	仙台市立仙台
仙南	小室孝博	白石工業
大崎	齋藤　隆	田尻さくら
石巻	今野芳朗	石巻北
仙北	佐々木真教	迫桜
本吉	伊比卓夫	気仙沼向洋

ご功績に心から感謝申しあげます

平成26年度宮城県高Ｐ連　表彰者

No.	学校名	氏名	No.	学校名	氏名	No.	学校名	氏名
1	仙台二	結城道広	27	大河原商	米澤光秀	53	石巻商業	岡部栄二
2	宮城一	千葉博幸	28	角田	坂元貞治	54	石巻市女商	國井俊明
3	仙台二華	友坂実	29	伊具	星智宏	55	石巻北	渡辺智江
4	仙台三桜	柴山千晶	30	名取北	内田広美	56	石巻西	吉澤昌修
5	仙台向山	大渕直美	31	亘理	豊田八重子	57	東松島	藤井広美
6	仙台東	佐藤浩	32	宮城農業	相澤幸枝	58	築館	榊原靖視
7	宮城第二工業	佐藤厚志	33	古川	笠原喜志子	59	岩ヶ崎	安藤実
8	仙台	内海ゆかり	34	古川	嶋田勝江	60	迫桜	大坂勇
9	仙台	齋藤浩美	35	古川	石田政博	61	迫桜	櫻田優子
10	仙台工	板垣葉子	36	古川	佐々木昭	62	一迫商業	藤村典尚
11	仙台商	桑鶴奈保美	37	古川黎明	伊藤知昭	63	佐沼	熊谷敏明
12	泉松陵	坂口清敏	38	古川黎明	佐々木真弓	64	佐沼	三浦博之
13	泉館山	中村信忠	39	古川工業	尾形桂五	65	佐沼（定）	浅野宗孝
14	宮城広瀬	中村りつ子	40	松山	遠藤浩	66	登米	松本正人
15	利府	井上環	41	加美農業	浅野泰男	67	上沼	酒井和子
16	多賀城	丸山隆	42	小牛田農林	結城一男	68	上沼	三浦友昭
17	塩釜	村上佳司	43	小牛田農林	渋谷恵美	69	米山	佐々木昭宏
18	松島	石垣満江	44	田尻さくら	山岸仁一	70	米谷工	冨士原則義
19	黒川	細川美奈子	45	涌谷	吉岡好勝	71	米谷工	浅野正士
20	富谷	小川正浩	46	涌谷	上部純子	72	気仙沼	鈴木髙登
21	宮城野	仙北谷数成	47	涌谷	齊藤みき	73	気仙沼（定）	中澤健
22	白石	桂山信幸	48	南郷	白川尚美	74	気仙沼向洋	小山順
23	蔵王	宍戸昭子	49	鹿島台商業	岩間のり子	75	本吉響	菅原宅久
24	白石工	枡和也	50	中新田	千葉浩美	76	志津川	佐藤信一
25	村田	清野斉	51	石巻	岡浩	77	志津川	小野寺ひとみ
26	柴田農林	荻山恭子	52	石巻好文館	三浦宏夫	78	気仙沼西	小野寺忠浩

（敬称略）

編／集／後／記

昭和57年８月、全国から６千３百余名の会員が参加し東北大学記念講堂を主会場に第32回全国大会が開催された。同大会ではバイクの「３ない運動」が決議された。それは現在の高Ｐ連活動でも重点目標の一つとなっている。

平成34年に東北で開催が予定されている第72回全国大会は、順序からすると本県開催が順当である。今年度県総会では東北地区高Ｐ連から要請があった場合は本県実施を受入れることが可決承認された。

８年後とはいえ、参加者１万名を超える大規模な大会。少しずつ準備を整えていく必要がある。総会では財政の見直しが提案された。常任理事会における審議を基礎にして、いろいろな方策を考え、会費値上げも視野に入れて本会の体力増強を図っていかなければならないと思っている。よろしく御願いしたい。

◆26年度は、次のメンバーで県連事務局を運営します。ご協力よろしく御願いします。

事務局長	花井	弘美	専任
書記・会計	三浦	勇	専任
事務局次長	江戸	信之	仙台向山
書記	高橋	洋	〃
〃	高橋	雅彦	〃
〃	青沼	しく子	〃